

都市のヒグマとヒト

きたネット 北海道環境活動交流フォーラム2018

北海道の市街地にヒグマが頻繁に出没しています。生態系の頂点であるヒグマが生存することは、自然の近さ・豊かさの象徴である一方、住民や管理者が被害を受ける危険を伴います。生物多様性保全やSDGsの理念から、ヒグマは共にこの地に暮らす仲間であり、人が平和な暮らしを願うのと同様に、野生生物の将来も保証されるべき。大都市にヒグマが生息するという、世界に類のない状況がもたらすリスクをどう管理して安全を担保していくのか、命のせめぎ合いの最前線から共生のランドデザインを考えます。

事前申込要

12/8 (土) 10:00~17:40 (9:30受付開始)
札幌エルプラザ 3Fホール他

参加費 きたネット会員・学生/全日1300円 午前または午後のみ700円 一般/全日1500円 午前または午後のみ800円

PROGRAM

10:00 開会・ごあいさつ

10:10 基調講演1
「札幌生まれのヒグマたち—その暮らし、人や街との距離感—」

佐藤 喜和 氏
(酪農学園大学 農食環境学群環境共生学類教授 野生動物生態学研究室)
札幌市街地近郊の森林で行ってきた野外調査の成果をもとに、札幌に生きるヒグマの生態や繁殖実態について紹介、本フォーラムの話題提起を行います。

11:10 基調講演2
「人とヒグマとの付き合い方・ヒグマ観の歴史的变化」

前田 菜穂子 氏 (ヒグマ情報センター)
ヒグマという生き物の生態や魅力、アイヌに学ぶヒグマとの付き合い方、現代の人とヒグマの関係と対比させながら、お話いただきます。

12:10~13:10 休憩

13:10~14:10 パネルディスカッション

「生活の場、環境保全活動の場にヒグマが! 地域の暮らしをどう守る?」

コーディネーター/佐藤 喜和 氏

前田 菜穂子 氏 (ヒグマ情報センター) **パネリスト**
早稲田 宏一 氏 (NPO法人EnVison環境保全事務所)
山本 牧 氏 (NPO法人もりねっと北海道)
片山 綾 氏 (公益財団法人知床財団 公園事業係)

14:30~16:15 分科会
課題解決のために、ネットワークを活用する

分科会A 生物多様性保全
200万都市札幌で、環境共生の理念と矛盾しない、ヒグマとの共生ランドデザインを考える

座長/長谷川 理 氏 (NPO法人EnVison環境保全事務所)

事例/札幌市のヒグマ問題、現状と対策

坂田 一人 氏 (札幌市環境局環境都市推進部 環境管理担当課熊対策調整担当)
今井 健太 氏 (滝野すずらん丘陵公園滝野管理センター)
花田 沙智子 氏 (札幌市定山溪自然の村 主任指導員)
札幌市民は、ヒグマや野生生物との共生をどう考えているか
愛甲 哲也 氏 (北海道大学農学研究院准教授)

札幌市の現状と対策、共生ランドデザインを考える / 佐藤 喜和 氏
運営協力・進行/酪農学園大学環境共生学類学生のみなさん

分科会B 森林保全
森林保全団体の課題解決、市民活動のネットワークに求められる機能は?

座長/枝澤 則行 氏 (ふるさと美幌の自然と語る会事務局長)

森林保全・森づくりに関わるきたネット会員団体他、一般団体、企業、個人のみなさん
※発表者は、きたネットのFacebook等でご案内します

分科会C 環境教育
市民活動・環境教育をSDGs的思考で、さらに広いネットワークに

座長/麻生 翼 氏 (NPO法人森の生活理事長)

秋山 孝二 氏 (北海道経済同友会幹事・(公財)秋山記念生命科学振興財団理事長)
廣瀬 岳史 氏 (No Maps実行委員会事務局長)
ピアンカ・フルスト 氏 (NPO法人八剣山エコケータリング代表)
佐竹 輝洋 氏 (札幌市環境局環境都市推進部 環境計画課調査担当係長)

16:30 伝え、拡げるために 全体情報交換会

話題提供 市民団体は自然災害の際にどんな役割を果たせるのか
定森 光 氏 (NPO法人北海道NPOサポートセンター)

17:20 まとめ 閉会



早稲田 宏一 氏



山本 牧 氏



片山 綾 氏



佐藤 喜和 氏



前田 菜穂子 氏



定森 光 氏



長谷川 理 氏



坂田 一人 氏



今井 健太 氏



花田 沙智子 氏



愛甲 哲也 氏



枝澤 則行 氏



麻生 翼 氏



秋山 孝二 氏



廣瀬 岳史 氏



ピアンカ・フルスト 氏



佐竹 輝洋 氏

【お問合せ・お申込み】NPO法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」 Tel.011-215-0148 Fax.011-215-0149 E-mail office@kitanet.org 「きたネットWeb」 http://kitanet.org/ 詳細は裏面をご覧ください。

【主催】NPO法人北海道市民環境ネットワーク／一般財団法人セブン-イレブン記念財団



【共催】札幌市 【後援】北海道新聞野生生物基金 【協力】酪農学園大学環境共生学類 公益財団法人知床財団 環境中間支援会議・北海道(環境省北海道環境パートナーシップオフィス、公益財団法人北海道環境財団、札幌市環境プラザ(指定管理者:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)、NPO法人北海道市民環境ネットワーク)

KITA-NET
FORUM
2018

